

第13回国労フクシマ交流・視察学習会

国労水戸

原発事故を風化させない

12月6日、7日、第13回国労フクシマ交流・視察学習会が開催しました。1日目は久ノ浜・大久ふれあい館、宝鏡寺（檜葉町）を現地視察し、Jヴィレッジにて交流を行いました。2日目は日立市で交流学習会を開催し反原発運動の意思統一をしました。

主催者、宮崎本部委員長から廃炉が見えない原発で何を学ぶのか。事故を繰り返してはいけないうと視察して思う。人類と原発は共存は出来ないかと挨拶しました。茨城県平和



でもらいたい、地域に訴えていきたいと話されました。「東電福島第一原発の被ばく労働について」狩野いわき市議から、中長期ロードマップの30、40年後、廃炉完了のイメージがつかない。労働者のアンケートで放射線に関する不安が増加しています。多重下請けの見直しを求められています。

国鉄労働組合
水戸地区本部
水戸市三の丸
3丁目1-1
029-221-4008
発行責任者 塙 正人
編集責任者 坂下 司

声かけて

仲間とTUNAG

拡大へ

賃金、労働条件の改善の引き上げを行います。「東海第二原発と私たちの課題」について、玉造県議会議員からチェリノブイリ原発、JCOの事故の経験から脱原発の運動が広がればフクシマの事故は防げたと悔やまれます。東海第二原発は実効性ある避難計画の策定

に取り組んでいるが、避難に使うバスの運転士の安全が課題です。原発は低コストを謳うが、政府が電力会社に支援する制度に、国民の負担が電気料金に上乗せされます。岩元書記長から今回で13回となり何を目的にどう進めていくのか。常磐線は除染されたが周辺はまだ帰還区域で実際に現地を見なければ分からない。参加したことが無い人の参加をお願いしたい。

輸送障害連続発生

11月16日、友部駅構内で信号トラブルがあり、運転を見合わせました。12月8日、牛久駅、竜ヶ崎駅で線路のトラブルで運転を見合わせ相次いでトラブルが発生しています。

機械によるメンテナンスが中心で、人による巡回の減少などが必要の一つでもあると思います。今後の安全安定輸送には要員の確保が必要になってくるのではないのでしょうか。

QRコード



国労水戸地区本部ホームページ



国 労 水 戸

検索

<https://nrumito04.wixsite.com/kokurom>